

(趣旨)

第1条 この規則は、香美市体験実習館の設置及び管理に関する条例(平成18年香美市条例第168号。以下「条例」という。)第19条の規定に基づき、体験実習館の管理及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(使用の手続)

第2条 条例第13条の規定により、体験実習館の使用許可を受けようとする者は、使用許可申請書(様式第1号)を指定管理者に提出しなければならない。

(使用の許可)

第3条 指定管理者は、前条の申請書を受理した場合は、これを審査し適当と認めたときは、許可するものとする。

2 指定管理者は、使用を許可したときは、使用許可書(様式第2号)を交付するものとする。

(休館日)

第4条 体験実習館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 農林漁業体験実習館 毎週木曜日及び金曜日
- (2) 大井平体験実習館 年末年始 12月29日から翌1月3日まで

2 指定管理者が特に必要があると認めた場合は、前項の規定にかかわらず休館日を変更することができる。

(使用時間等)

第5条 体験実習館の使用時間は、次のとおりとする。

- (1) 農林漁業体験実習館 午前8時30分から午後5時まで
- (2) 大井平体験実習館 午前8時30分から午後10時まで

2 指定管理者が特に必要があると認めた場合は、前項の規定にかかわらず使用時間を変更することができる。

(利用料の減免)

第6条 条例第16条第2項の規定により、利用料の減免を受けようとする者は、第3条第2項の規定による使用許可書とともに利用料減額(免除)承認申請書(様式第3号)を指定管理者に提出しなければならない。

2 指定管理者は、前項の申請があった場合において、使用料の減額又は免除を承認するときは、使用料減額(免除)承認通知書(様式第4号)を交付するものとする。

(使用の制限)

第7条 指定管理者は、次の各号に該当するものに対し施設の使用を禁止し、又は退去させることができる。

- (1) 感染性疾患を有する者
- (2) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれのある者
- (3) 建物又はその附属物等を故意に汚損するおそれのある者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、指定管理者において著しく他人に迷惑を及ぼし、又は施設の秩序を乱すおそれがあると認められる者

(設備の制限)

第8条 施設を利用する者(以下「利用者」という。)は、施設の設備に増設し、又は変更を加えてはならない。ただし、指定管理者の許可を受けたときは、この限りでない。

(管理上の立入り)

第9条 利用者は、関係職員が施設設備等の管理その他職務上の必要があつて当該使用に係る施設に立ち入る場合には、これを拒むことができない。

(損壊の届出等)

第10条 利用者は、施設及び附属設備を損壊し、又は滅失したときは、直ちに指定管理者に届け出てその指示を受けなければならない。

(遵守事項)

第11条 施設の利用者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 施設内では、指定管理者の許可を受けないで行商、募金その他これに類する行為をしないこと。
- (2) 所定の場所以外で火気を使用しないこと。
- (3) 建物、その他の工作物、設備等を汚損し、又は損壊するおそれがある行為をしないこと。
- (4) 他に危害を加え、又は迷惑となる物品、動物の類を携帯し、若しくは連行しないこと。
- (5) 附属設備等を施設外に持ち出さないこと。
- (6) 衛生、風紀、保安を害し施設の管理上障害となる行為をしないこと。
- (7) その他管理上必要な指示に反する行為をしないこと。

(管理日記)

第12条 指定管理者は、施設に管理日記を備え利用状況、備品の貸出しその他の必要な事項を記載しなければならない。

(その他)

第13条 この規則に定めるもののほか、施設の管理に関し必要な事項は、市長の許可を受けて指定管理者が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成18年3月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の大井平体験実習館の管理及び運営に関する規則(平成4年香北町規則第6号)又は農林漁業体験実習館の管理及び運営に関する規則(昭和62年物部村規則第2号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成25年3月7日規則第3号)

この規則は、公布の日から施行する。

様式第1号(第2条関係)

体験実習館使用許可申請書

年 月 日

様

申請者住所
氏名
(電話 印)

次により、体験実習館を使用したいので、許可されるよう申請します。

使用日時	年 月 日(曜) 時 分 日 時間 月 日(曜) 時 分									
使用目的										
使用する室名等					使用料の明細	区分	単位	使用料		
使用人員		男	女	計		直 販 所				
	大 人					農作物加工室				
	中 学 生					木竹加工室				
	小 学 生					会 議 室				
						民俗資料展示室				
※受付年月日	年 月 日			許可日 年 月 日	年月日	許可番号	第 号			

様式第3号(第6条関係)

体験実習館利用料減額(免除)承認申請書

年 月 日

様

申請者 住所
氏名
(電話 印)

農林漁業体験実習館使用料減額(免除)の承認を受けたいので次のとおり申請します。

使 用 日 時	年 月 日 時 分 日 時間								
使 用 目 的									
使 用 施 設 室 名 等									
減額(免除)を受けようとする理由金額									
※ 減 額 (免 除) 額 の 算 定	<table><tr><td>A 使 用 料</td><td>減 額 (免 除) 申 請 額</td><td>B 決 定 減 額 免 除 額</td><td>決定使用料 A-B</td></tr><tr><td>円</td><td>円</td><td>円</td><td>円</td></tr></table>	A 使 用 料	減 額 (免 除) 申 請 額	B 決 定 減 額 免 除 額	決定使用料 A-B	円	円	円	円
A 使 用 料	減 額 (免 除) 申 請 額	B 決 定 減 額 免 除 額	決定使用料 A-B						
円	円	円	円						
備 考									

様式第4号(第6条関係)

体験実習館使用料減額(免除)承認通知書

年 月 日

様



年 月 日付けの申請について次のとおり承認します。

使 用 料 (A)	円
減 額 (免 除) の 額 (B)	円
決 定 使 用 料 (A)－(B)	円